

やまなし 交通安全情報

財団法人 山梨県交通安全協会
財団法人 山梨県交通安全協会各支所

発行所
山梨県交通安全活動推進センター
TEL 055-280-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ)
<http://www.yin.or.jp/user/ankyou/>

甲府交通安全協会
韮崎交通安全協会
南部交通安全協会
富士吉田交通安全協会

南甲府交通安全協会
北社交通安全協会
笛吹交通安全協会
大月交通安全協会

南アルプス交通安全協会
鰍沢交通安全協会
日下部交通安全協会
上野原交通安全協会

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
中日本高速道路株式会社八王子支社

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
山梨県二輪車安全普及協会

CONTENTS	2	事故死6年連続減少 高齢者の犠牲、前年から半減	6	安協会員への支援
	3	交通安全功労者を表彰	7	山梨県交通安全推進 県民大会
	4 5	各地区安協の活動	8	協賛団体の交通安全情報

169号

春の全国交通安全運動

4月6日から15日

子どもと高齢者を守ろう！



4月10日(土)は 交通事故死ゼロ を目指す日

交通死亡事故は記録に残る昭和43年以降、毎日発生しています。
一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践し、交通事故のない安全で安心な社会を築きましょう。

街頭指導で交通安全を懸命に訴える南部安協役員ら
— 南部警察署前

「春の全国交通安全運動」が四月六日から十五日までの十日間実施されます。県内では山梨県交通安全対策本部と山梨県交通対策推進協議会が主催して展開されます。

運動のスローガンは「運転は人に社会に思いやり」。新入学児童に交通ルールの理解を深めてもらい、交通マナーの習慣づけを徹底することも、高齢者の交通事故防止も積極的に推進します。

運動は「子どもと高齢者の交通事故防止」を基本に全国一斉に展開。

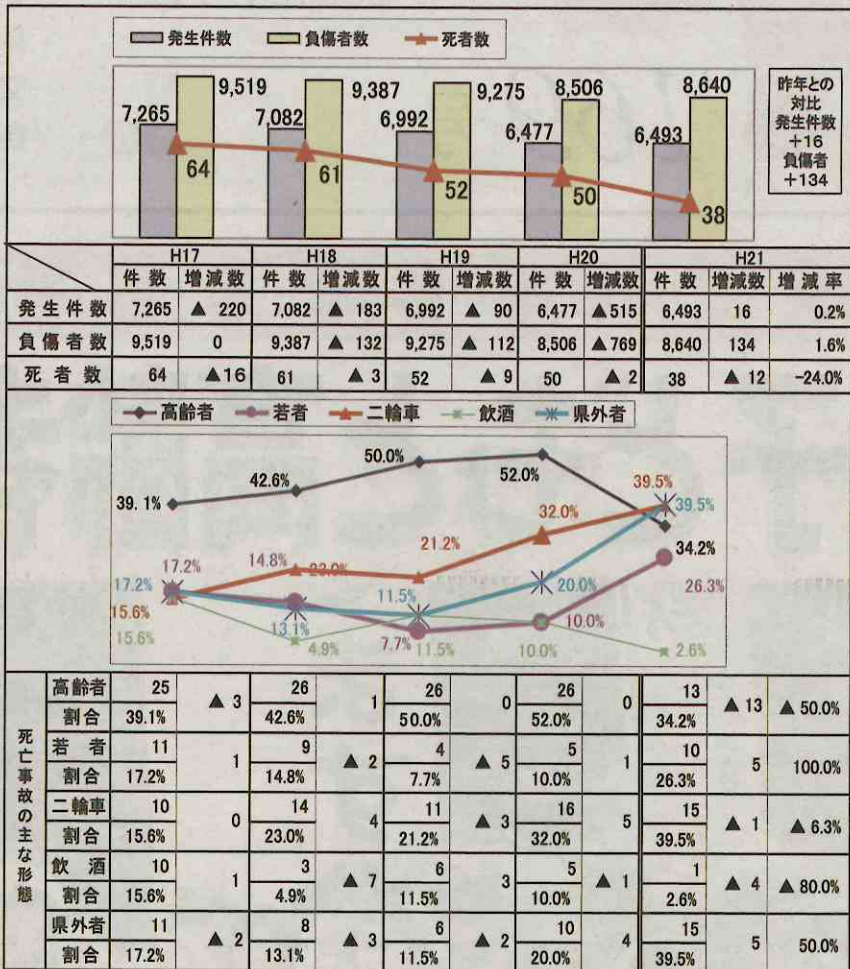
①すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
②自転車の安全利用の推進③飲酒運転の根絶④二輪車の交通事故防止の四点を重点として、県内でも十二の地区安協、各警察署などが呼びかけ、各地域で「子どもと高齢者の交通事故防止」に向けて啓発活動を展開します。



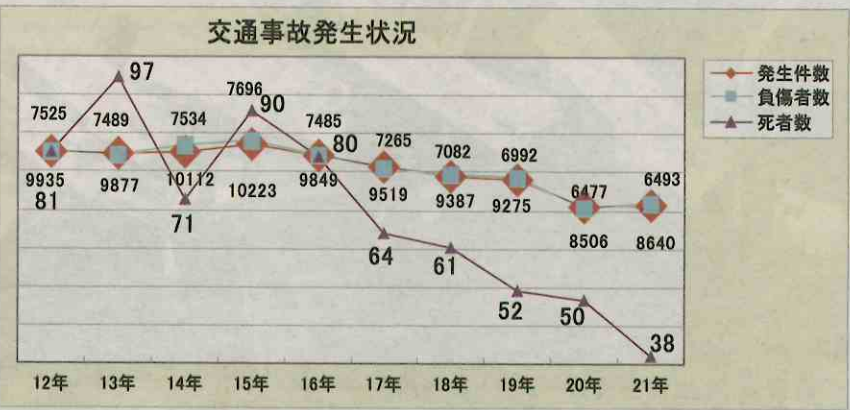
その電話 運転席では圏外です
安心を 光で届ける 反射材
さあかくにん ライト ブレーキ ヘルメット

事故死6年連続減少

高齢者の犠牲、前年から半減



県内の交通事故は、発生件数、負傷者数が五年連続の減少から、平成二十一年は発生件数が前年比0.2%増、負傷者数が同1.6%増と、増加に転じたが、死者数は六年連続で減少し、三十八人と前年(五十人)に比べての減少率も24.0%と全国で三位。全国平均の4.7%と比較しても、山梨県の死者数が大幅に減少したことがわかります。



7%と比較しても、山梨県の死者数が大幅に減少したことがわかります。とりわけ六十五歳以上の高齢死者数は十三人と、前年の二十六人に比べて半減し、減少率は全国三位です。全死者に占める割合も34.2%と、前年(52.0%)に比べて17.8ポイントも減少しました。一方で、県外死者数と若者(十六〜二十四歳)死者数は増加しました。県外死者数は前年と比べて五人増で、全死者に占める割合も39.5%と前年の20.0%と比べてほぼ倍増しました。若者死者数(十人)は前年から倍増。そのうち二輪による死者数が75.0%も増加しました。

また、死亡事故の中でシートベルト着用対象者十四人中、着用者は七人(着用率50.0%)で、着用率は前年比

3.3ポイント増でしたが、依然として低調です。また飲酒が起因する死亡事故は一件(一人)でした。

このように死亡事故が減少した要因としては①関係機関団体と連携した高齢者等に対する交通安全教育等による安全意識の浸透②全席シートベルト着用の義務化による着用率の向上③飲酒運転根絶意識の高まりと飲酒運転に対する厳罰化が考えられます。交通事故をなくすためには一人ひとりが安全運転に対する意識を持つことが最も重要です。悲惨な交通事故死をさらに減少させることができるように、また交通事故の発生件数、負傷者数を再び増加させないことを祈ります。

山梨県警察交通部から

平成二十一年中の山梨県下の交通事故は、交通安全協会をはじめ、自治体、関係機関・団体の皆様と協働して各種事故防止活動を進めた結果、死者は三十八人、前年比マイナ

県民総参加の安全・円滑な交通社会の実現に向けて

県警交通部長 青木 雄二



実践していただく県民総参加の交通安全運動により、悲惨な交通事故を防止することが何よりも大切と考えているところであります。このため、歩行者や自転車の方は、「自らの命は自ら守る」との意識のもとに行動し、自動車運転者の方は、歩行者や自転車に注意を払い、思いやりとゆずりあいの気持ちを持って、安全運転に心がけていただくことが重要であります。

百九十三件、前年比プラス十六件と僅かに増加しましたが、第八次山梨県交通安全基本計画で示された

の四点を重点、各種対策を推進してまいります。交通安全抑止の効果も上げて、県民の皆様一人ひとりが交通安全に努めていただきますよう、心からお願ひ申し上げます。



事故防止を祈り交通安全祈願祭
一月十三日に甲府市の護国神社で交通安全祈願祭を行いました。

祈願祭には、西郷正実山梨県警察本部長、八木吉治山梨県交通安全協会会長をはじめ、山梨県警察本部交通部の幹部、山梨県交通安全協会役員ら約六十人が出席しました。神事では、宮司が祝詞を述べた後、西郷県警本部長と八木県安協会長が代表して玉盃を奉奠し、各種団体が協力しあい、悲惨な交通事故が減少するようにと祈願しました。

県警幹部や県交通安全協会役員ら約60人が出席した交通安全祈願祭。甲府・護国神社



安全のために
第一当事者となる事故は年々増加しており、また、罰則強化等の法改正や県民の飲酒運転根絶意識の高まり

に向けて、
○高齢者と子どもの交通事故防止

の四点を重点、各種対策を推進してまいります。交通安全抑止の効果も上げて、県民の皆様一人ひとりが交通安全に努めていただきますよう、心からお願ひ申し上げます。

緑十字金章に依田倉藏氏

東京で交通安全国民運動中央大会

県内から5人5団体表彰



交通安全国民運動中央大会に出席した山梨県の受賞者ら。東京・日比谷公会堂前



優良安協など表彰した平成21年度交通安全功労者等表彰式
—南アルプス市桃源文化会館

県内受賞者



依田 倉藏氏



和光 修学氏



今津 辰三氏



藤原 保氏



加々見三千夫氏

第五十回交通安全国民運動中央大会が一月十八・十九日の両日、東京で開催されました。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

た。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

た。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

た。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

た。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

た。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

た。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

た。大会は、国民一人ひとりが交通道徳を高め、交通ルールを正しく守って交通事故を防止しようという目的で毎年開かれていたものです。初日はホテルグランドヒル市ヶ谷で交通安全分科集会在開かれ、交通安全対策について、地域・家庭部会、交通安全教育部会、企業部会の三部会に分か

21年度交通安全功労者等表彰

優秀安協に甲府、大月

山梨県警察・山梨県交通安全協会は二月四日、南アルプス市の桃源文化会館で、平成二十一年度交通安全功労者等の表彰を行いました。

表彰式では、交通事故防止に長年功績のあった、交通安全功労者の皆さんが表彰の対象となり、関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名表彰の二団体・十四名と全日本交通安全協会会長連名表彰の交通安全功労者四十二名・優良運転者四十七名・優良安全運転管理者七名の表彰の伝達がされ、県警察本部長・県交通安全協会会長連名表彰四協会、十一団体、二百四十一名に、県交通安全協会会長表彰で交通安全死亡事故抑止に貢献した三協会、積極的な交通安全活動をされた十三女性部、七支部に表彰状・感謝状

と記念品が授与されました。受賞団体と受賞者は次のとおりです。

【関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名表彰】
△交通安全功労団体 湯村自動車学校(甲府)
△交通安全優良事業所 甲斐輿運(県トラック)

△優良運転者 服部勝子(甲府) 石原昭(南甲府) 柴田忠洋(南アルプス) 木内豊子(甲府) 中山尚武(北杜) 有泉久義(飯沼) 安藤節子(南都) 武川高仁(飯沼) 鶴田晃(日下部) 水越徳(上野原) 古屋一光(県トラック) 長沢定雄(県バス) 久保田治郎(県身障者) 花輪清美(県安協)

【全日本交通安全協会会長表彰】
△交通安全功労者 沼田五郎、加々美富明、長田早苗、小澤弘司、樋口喜和子(甲府) 渡辺吉郎、渡辺貴元、桜井明、植田功、相原吉富(南甲府) 住吉賢一、小林照美、秋山富一、三枝秀武、小宮健次(南アルプス) 土屋延之、深見章子、井上廣昭(北杜) 山口照美、船木良、山田純士(北杜) 杉野忠良、笠井義春、深澤強、望月松男(飯沼) 幡野幸子、樋口彰一(南都) 佐藤奈津美、西海富子(南都) 古屋始芳、向山喜代子(飯沼) 古屋光二、中嶋久雄、武藤福司、新藤好美(日下部) 宮下弘平、渡辺正行、流石任(南都) 渡辺長重、幡野紀男(大月) 白井隆文、志村節雄(上野原)

△優良安全運転管理者 榎ハートメディカル・上田修、トヨタ部品東京共販(山梨支社) 小林英文、山梨住宅工業株式会社・畑内男、株式会社上田建設・上田陽一郎、甲信建設株式会社・三森光(渡辺) 渡辺正美、大嶺興業株式会社・古家恵次

△優良運転者 長田昭、窪田茂、小田切松雄、八木久石井薫(甲府) 三枝健、中澤義浩、藤本泰子、柳正三(南甲府) 嶋山静、西川隆茂、柴田里子、伊井貴美、南アルプス井上善吉、中澤里和、田中仁、石川信厚、依田亨安、石井貞治(飯沼) 中嶋泉(北杜) 雨宮和久、水上敬明(飯沼) 山岸正成、森田忠、生松義彦(南都) 中川和雄、種田賢治、北野昭(飯沼) 藤巻征史、廣川義光(日下部) 大森達美、梅谷和夫、宮下公明、羽田隆、樋口龍子、渡辺久男(南都) 宮下忠治(大月) 船木前男、大神田礼子、小池文夫(上野原) 原田幸弘、荒澤秀司、藤原勝人(県トラック) 遠山金昭(県バス) 丸山義昭(県身障者) 末木基浩、熊谷良二(県二推)

△優良安協に甲府、大月 山梨県警察本部長・山梨県交通安全協会会長連名表彰▽優良交通安全協会優秀賞 甲府交通安全協会、大月交通安全協会▽同優良賞 南甲府交通安全協会、南アルプス交通安全協会

△交通安全功労者及び団体▽交通安全功労者 山本光信、室伏茂治(甲府) 藤巻正広、松永美文(南甲府) 細田和徳(飯沼) 植村武勝(飯沼) 佐藤正(大月) 岩崎友江、望月けさじ(母の会)▽交通安全功労団体 山梨交通株式会社(甲府)

山梨ジャパネットホール警備株式会社、西油川自治会(南甲府) 湯澤工業株式会社(南アルプス) 甲斐市立竜王小学校、市立穂坂小学校(飯沼) 南都自動車工業株式会社(南都) クリフ株式会社(山梨工場) 都留市立生第一小学校(大月) ㈱宮製作所(上野原)

△交通安全功労役員 斎藤一幸、武井文英、藤原邦夫、青島光夫、樋口幸次、萩原康、成島章子、石田賢郎、渋谷幹子、森本礼子(甲府) 市川勇造、長沢勝、向山妙子、井上和仁、河野治、名取等、若井徹雄、鷺山房雄、山本留美子(南甲府) 山坂正雄、中込和、内田一敬、古屋博之、有野みち子、清水孝子(南アルプス) 内藤久夫、北原孝人、樋口浩子、小田切孝夫、竹村和人、金丸豊富、金丸寛代重、豊田泰長(飯沼) 山本政博、三井幸夫、清水保夫、清水希一、奥水政昭、山本高良、三井一男(北杜) 中村英子、折居司郎、雨宮任一、大窪静、北村浩二(飯沼) 赤池純一、末高俊則、久村俊之、小山和美、吉野賢造(南都) 杉田正實(飯沼) 竹下清貴、日比野勲、長沼清光、三科典子、三森若江、佐藤米子(日下部) 長田和明、渡辺重穂、宮下太貴、勝保敏一、松浦文雄、梶原忠雄、渡辺秀雄(南都) 相川功、磯部百合子、上原幸子、小松明久、佐藤政幸、杉本茂、山田昭司、矢ヶ崎君作(大月) 上條亮一、飯島良雄、中村偉一、守重久一、青柳長雄(上野原)

△優良運転者 原茂、原松美、志村勝治、土屋紘一、樋川万佐子、土橋勝雄、古原政信、名取明、五味英雪、山田芳文、浅川嘉昭、志村圭介(甲府) 大久保佳子、高谷富貴子、三神秋男、小澤貢、功刀さとし、佐藤悦也、有泉和俊、葉袋紀元、志村富洋、村松廣光(南甲府) 秋山武士、佐野一仁、五味哲也、佐野義英、中込明久、大森政明、小林正一、高遠千代美、田辺秀昭、酒井勇、小林照雄(南アルプス) 青木幸夫、太田武士、金子幸男、浦塚昇、伊藤つる子、仲田次男、高橋孝雄、小林次雄、山本久久、小澤俊幸、有井ふみ子、塩田孝、内藤守枝、川島幹郎、今福里幸、高添一昭、井上成彦、三浦良一、高野善正、小山三子(飯沼) 浅川たまり、谷戸ゆり子、浅川末子、小池恵治、篠原寛二、萩原武一、三井和一(北杜) 西室厚子、渡辺弘文、樋川信一郎、今福務、小林英子、山崎正俊(飯沼) 望月俊夫、中居義正、望月照健、渡邊昇、渡邊英文、杉山一、望月正洋、斎藤正孝、手塚昭夫、熊谷文彦、田村正彰、四條八重美、望月英人、佐野正己、竹下邦利(南都) 三枝けさみ、清水吉高、小野毅、風間雄太、石原薫、依田七郎、古屋洋子、深沢治子、雨宮進、向山喜代子、相澤和子、久保田弥生、土屋勝男、飯島ヤイ子、丸山純子、中澤新明、相川みち子(飯沼) 峰須賀ゆり子、岡和彦、佐藤昭三、清水昌和、平山忠(日下部) 長谷川幸男、渡邊恵美子、和地洋子、櫻田武雄、佐藤美保、小林礼一、渡辺民雄、北原敦、渡邊茂史、宮下静子、渡邊浩子(南都) 菅野耕一、君田昭昌、久高幸子、熊坂健行、小林健造、柴田英雄、柴田はる子、志村正幸、須貝茂夫、武井靖、田中光夫、橋本英一、平井光雄、廣瀬弘幸、藤本正夫、山口親雄、山田澄信、渡邊春代(大月) 小澤弘昭、水越勝、市川秋吉、岡部勇、加藤安雄、田中寿二、白鳥芳則(上野原) 飯島秀樹、小澤浩、斎藤光貴、古原優樹、小林直仁(県トラック) 名取信幸、奥水義秀、清水康雄、羽田武志、田辺誠次(県バス) 井上七下子、大村登、長田辰彦、石合千年、川又昭彦(県身障者) 坂本篤(県二推)

△山梨県交通安全協会会長表彰▽交通安全死亡事故抑止交通安全協会 南アルプス交通安全協会、市交通安全協会、北杜交通安全協会

▽各地区交通安全協会女性部及び支部
○女性部 甲府交通安全協会池田支部女性部、甲府交通安全協会中央支部女性部、南甲府交通安全協会女性部、南アルプス交通安全協会女性部、市交通安全協会女性部、飯沼交通安全協会女性部、南都交通安全協会女性部、飯沼交通安全協会女性部、上野原交通安全協会女性部
○支部 甲府交通安全協会酒折支部、甲府交通安全協会市川支部、市交通安全協会市川支部、北杜交通安全協会小淵支部、南都交通安全協会常葉支部、南都交通安全協会山中支部、大月交通安全協会東桂支部

優良安協など表彰した平成21年度交通安全功労者等表彰式

と記念品が授与されました。受賞団体と受賞者は次のとおりです。

【関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名表彰】
△交通安全功労団体 湯村自動車学校(甲府)
△交通安全優良事業所 甲斐輿運(県トラック)

△優良運転者 服部勝子(甲府) 石原昭(南甲府) 柴田忠洋(南アルプス) 木内豊子(甲府) 中山尚武(北杜) 有泉久義(飯沼) 安藤節子(南都) 武川高仁(飯沼) 鶴田晃(日下部) 水越徳(上野原) 古屋一光(県トラック) 長沢定雄(県バス) 久保田治郎(県身障者) 花輪清美(県安協)

【全日本交通安全協会会長表彰】
△交通安全功労者 沼田五郎、加々美富明、長田早苗、小澤弘司、樋口喜和子(甲府) 渡辺吉郎、渡辺貴元、桜井明、植田功、相原吉富(南甲府) 住吉賢一、小林照美、秋山富一、三枝秀武、小宮健次(南アルプス) 土屋延之、深見章子、井上廣昭(北杜) 山口照美、船木良、山田純士(北杜) 杉野忠良、笠井義春、深澤強、望月松男(飯沼) 幡野幸子、樋口彰一(南都) 佐藤奈津美、西海富子(南都) 古屋始芳、向山喜代子(飯沼) 古屋光二、中嶋久雄、武藤福司、新藤好美(日下部) 宮下弘平、渡辺正行、流石任(南都) 渡辺長重、幡野紀男(大月) 白井隆文、志村節雄(上野原)

△優良安全運転管理者 榎ハートメディカル・上田修、トヨタ部品東京共販(山梨支社) 小林英文、山梨住宅工業株式会社・畑内男、株式会社上田建設・上田陽一郎、甲信建設株式会社・三森光(渡辺) 渡辺正美、大嶺興業株式会社・古家恵次

富士吉田



エコバッグで反射材の大切さ訴え

富士吉田安協は昨年12月7、8、10日の3日間、年末の交通事故防止県民運動として街頭指導を行いました。なるさわ道の駅や山中湖交番前など5カ所に約180人が参加。年末に向けて飲酒運転の根絶を訴えたほか反射材付きのエコバッグを配って反射材の大切さを呼びかけました。今年1月には忍野村の東円寺で交通安全祈願を行いました。



北杜



北杜安協は年末の交通事故防止県民運動の一環として、昨年12月6日、長坂町や白州町のショッピングセンターなどで街頭指導を実施。買い物客らにリフレットなどを手渡して交通安全を呼びかけました。また、市内の小学生に冬休み中の交通安全を呼びかけるため、全小学生2420人分の自転車用セーフティライトとチャシを贈呈しました。

市内全小学生に自転車用ライト贈呈



日下部



サインボードで全席シートベルト着用啓発

日下部安協は3月1日から「春の全国交通安全運動」最終日まで、管内37の幼稚園と保育園に「全席シートベルト」「チャイルドシート着用」のサインボードを配布しています。各園にサインボード5枚と交通安全に関する塗り絵帳、シートベルト着用に関するチラシを配布して四輪車の全席シートベルト着用を呼びかけました。



鯉沢



「ゆずっこ運動」で安全運転啓発

鯉沢安協は昨年12月4日、富士川大橋東詰交差点で年末の交通事故防止県民運動の街頭指導を行いました。17日には同大橋西詰交差点で「ゆずっこ運動」街頭キャンペーンを実施。特産の柚子を配りながら「ゆず(柚子)りあいやさしい運転ありがとう」の標語を掲げて呼びかけました。今年1月には旧増穂町の天満宮神社で交通安全祈願祭を行いました。



笛吹



女性部研修会で 笛吹警察署長が講演

笛吹安協女性部は2月27日、石和町内のホテルで研修会を開きました。「御楽鷹の屋根～忘れ得ぬ4半世紀前の思い」と題して笛吹警察署の宮崎清署長が講演。同警察署、支所交通指導員らも合わせて約40人が参加してお話を聞きました。



南部



県警本部見学で 交通管制の仕組み学ぶ

南部安協は年末の交通事故防止県民運動中の昨年12月8日、国道52号線の身延町総合文化会館前で街頭指導を実施。運動の重点目標を記したタグ付きのペットボトル入り南部茶を配布、ドライバーに好評でした。今年1月に行った女性部の研修会では県警本部の交通管制センターや通信司令室を見学。交通事故発生時の連絡状況など業務内容を学びました。



地区安協の活動

韮崎



新入学児童に 反射材付き傘を贈呈

韮崎安協は3月、甲斐市と韮崎市の新入学児童に反射材付きの傘と、かわいらしいイラスト入りの巾着袋を贈呈しました。また女性部は甲斐市ふれあい文化館で研修会を開き、女性部や甲斐市交通安全母の会、韮崎警察署から大勢が参加して「スピーチ・スピーチ」と題して、講師の先生方のお話を聞きました。



大月



年末年始に合わせ 飲酒運転撲滅訴え

大月安協女性部は年末年始の飲酒機会が増える時期に合わせた昨年12月24日、都留市と大月市のショッピングセンター前で飲酒運転撲滅の啓発活動を行いました。交通安全の標語などが印刷されたトイレトペーパーや飲酒運転撲滅のステッカーなど400個を配布して買い物客らに「飲酒運転をしない、させない」を訴えました。



南アルプス



春の交通安全運動に合わせて標語を公募

南アルプス安協や同女性部は春の全国交通安全運動に合わせて「春の交通安全標語」を公募し、南アルプスの水が入ったペットボトル3000本に標語シールを貼って交通安全を広く呼びかけます。また、南アルプス警察署などとも連携して、高齢者をはじめ、保育園、小学校、中学校、高校、各種企業などを積極的にめぐり、交通安全教育に全力をあげています。講習の際には反射グッズなど交通安全啓発品を配布しています。



上野原



柚子手渡し「ゆずり合うマナー」訴え

上野原安協は昨年12月1日、年末の交通事故防止県民運動の出発式を上野原市役所センタープラザで行いました。その後、市役所東側市道で「柚子(ゆず)り合うマナーが自慢のうえのはら」と書いたメッセージと柚子をドライバーに手渡して交通安全を呼びかけました。また今年1月には市駅伝競走大会で交通整理を行い、選手の安全を守りました。



南甲府



女性部が高齢者の 事故発生状況学ぶ

南甲府安協は春の全国交通安全運動に合わせて、管内の新入学児童1356人に反射材付きの傘を贈呈。通学路の危険箇所を立て看板などを設置しました。女性部は3月、昭和町で交通教室を開き、南甲府警察署交通課長から、最近の交通事故情勢、中でも高齢者が当事者となる交通事故の発生状況について学びました。



甲府



支部ごとに交通安全啓発

甲府安協は2月、「交通事故ゼロを目指す活動推進研修会」を開催。また、甲府交通安全運転管理者協議会とともに交通安全功労者等の表彰を行いました。甲運(桜井)支部は「桜井町交通事故ゼロ宣言大会」を開きました。北新と相川の2支部は住民の要望に応じて「子ども飛び出し注意」の看板を設置。酒折支部はカーブミラーの清掃・点検を行いました。



安協会員入会のお願い

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力をいただいた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な交通事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させていただきます。

交通安全協会会員の皆様への支援

弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。

詳しくは、山梨県交通安全協会 (☎055・280・5550) にお問い合わせください。

交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じた場合は、20万円を限度とした見舞金を交付しております。

免許証ケース及びセーフティー・ドライブマップの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めのついた免許証ケースを進呈します。

Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

「ハンドルキーパー運動」推進中

ハンドルキーパー運動とは?

自動車仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

山梨県交通安全協会では、山梨飲食業協同組合をはじめとする関係者のご協力を得ながら飲酒運転の根絶を目指して、「ハンドルキーパー運動」を推進しています。



横内正明知事(写真左)から賞状を手渡される無事故・無違反達成チームの代表者
—甲府・小瀬スポーツ公園武道館

安協から

富士吉田交通安全協会は、富士吉田警察署管内が管轄する富士北麓地域の五市町村(富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村・忍野村・山中湖村)からなり、会員数約四万二千人、役員数五百人で、十四支部から構成されています。

県一安全で暮らす地域を目指し

富士吉田交通安全協会会長

渡邊 日出男



会役員の年間出勤回数は五十回を超えています。また、当地の道路環境は観光地としてのアクセスとなる高速道路のインターチェンジが三方所(河口湖IC、富士吉田IC、山中湖IC)や幹線道路となる六路線の国道(137号、138号、139号、300号、358号、41

年比五十二件減、死者数三人(同四人減)、負傷者数九百十人(同十三人減)と、発生件数、死者数、負傷者数のすべてにおいて前年比で減少しました。特徴としては全体の五割近くが国道で発生し、全当事者の約四割が県外者であることです。

立番の実施▽街頭指導時に反射材および啓発物品の配布▽岳麓自動車教習所を利用した高齢者ドライバーングスクールと高齢者交通安全宣言大会の開催▽五市町村の新入学児童に対する反射材付交通安全傘の贈呈▽酒類提供店三千店舗に対する飲酒運転根絶啓発ポスターの配布等を強力に推進しています。

富士北麓地域は、富士山、富士五湖、忍野八海等を有する国際観光地を擁し、県内外や国外から、年間を通して多くの観光客が訪れていきます。また、日本三奇祭の一つである富士吉田市の火祭りや富士五湖で開催される各湖上祭、さらに代表的なものでは一万人以上のランナーが参加する河口湖マラソン、山中湖ロードレースといった富士五湖で開催される各種ロードレースの交通整理等により、当協

3号)があり、週末には観光のため県内外の車による交通渋滞は常態化している状況です。このため、交通事故は週末に多発し、県外車がかかわる交通事故が多いのが当地の特徴と言えます。

こうした中、昨年の富士吉田警察署管内における交通事故の発生状況は発生件数六百二十九件(前

する交通事故防止、高齢者に対する交通事故防止を最重点として、警察・市町村・富士吉田警察署管内交通関係団体と連携して、交通事故防止活動を積極的に推進しています。主立った対策は▽年五回実施される交通安全運動期間中、五市町村全域において街頭キャンペーンの実施と主要交差点におけ

こうした地道な活動を継続して行っていくことが交通事故の抑止につながっていくものと確信しています。今後とも関係機

200日間無事故、無違反達成チームを表彰

第十七回目となりました平成二十一年度「セーフティードライブ・チャレンジ200」(平成二十一年六月十五日～十二月三十一日)に、前年度を上回る七千三百五十九チーム(三万六千七百九十五人)が参加いたしました。

実施結果では、70.4%にあたる過去最多の五千七百七十八チームが無事故・無違反を達成し、個人でも三万四千五百五十二人(92.8%)が無事

これは、チャレンジ200の効果であり、チームの一員として無事故・無違反を達成しようとする意識が交通事故の主な原因となる不注意を抑止していると思われる。二月十六日に小瀬スポーツ公園武道館において開催され

高い無事故率
早く優しい地元のための教習
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所
公認

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一、大型一・二、大特
けん引、自二
(合宿施設有)

た無事故・無違反達成チームに対する表彰式には、約九百人のご参加をいただき、山梨県交通安全対策本部長である横内知事から達成チームの代表五チームに賞状が授与されました。

また、表彰式後に行われた抽選会では、チャレンジ200推進会議構成団体の提供による百四十七本、総額三百五十七万円相当の賞品が当選チームに贈られました。

6支部86人が全力

女性部登場



鵜沢交通安全協会は市川三郷町と富士川町の2町の協会員から構成されています。春は鵜沢の大師公園の桜、夏は市川大門の神明花火、秋は鵜沢の大柳川の紅葉、冬は増穂高下のダイヤモンド富士と、山紫水明の地にあります。

当協会は八木吉治会長以下役員総数392人、女性部86人です。三珠、市川、市川南、六郷、鵜沢、増穂の6支部からなり、各支部の女性部役員が活躍しています。活動内容は主に春・秋の「全国交通安全運動」をはじめ、高齢者や子どもに対する交通安全教育活動等、地域における交通安全意識の高揚および交通事故防止のため、各種交通安全活動を続けています。

昨年は女性部ならではの手作りビーズマスクト人形(1日1個しかできあがらないため、とても苦労した作品)を交通安全のために心をこめて作製し、街頭活動で配布しました。

「年末の交通事故防止県民運動」では「ゆずっこ運動」と銘打った街頭キャンペーンを実施。増穂特産のゆずを配布して運転者のマナーアップを目指したゆず

手作り人形や特産品で事故防止訴え 遊休品バザー行い啓発品購入も

りあい運動は毎年、好評をいただいています。

また、市川三郷地区は昭和52年に「女性ドライバーの会」から地区安協女性部に組織変更して活動をスタートし、約30年になります。このとき制作した女性部の法被は県下で最初と記憶しています。

安協活動費が不足して、思うように交通安全活動ができなかったときは、八木会長を筆頭に女性部の呼びかけで各家庭の遊休品を持ち寄ってバザーをしました。その収益で高齢者の自転車方向指示器など交通安全啓発品の購入をすることができました。この活動によって、女性部の親ほくもたいへん深まりました。

これからも女性部ならではの感性を活かし、積極的に交通安全運動の啓発活動を推進してまいりたいと考えています。さらに、鵜沢警察署や各種交通団体の皆様と協働しながら、一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践して、交通事故が減るようがんばってまいります。

(文責・河口森子)

交通安全推進

「宣言」採択も

南アで県民大会

平成二十二年交通安全推進県民大会(山梨県・山梨県警



約700人が参加して開かれた交通安全推進県民大会 ー南アルプス市桃源文化会館

交通安全宣言

痛ましい交通事故をなくすことは、県民すべての願いです。

平成21年中は、県民あがて交通死亡事故抑止対策を進めた結果、交通事故による県内の死者数は38人であり、昭和33年以降最も少なかった昨年の50人をさらに12人下回りました。

しかしながら、発生件数・負傷者数は増加し、また、人口10万人当たりの死者数は依然として全国平均を上回っているほか、高齢者が関係する交通事故が増加しているなど、予断を許さない状況です。

私たちは、ここに生命の尊さと交通事故の悲惨さを深く認識し、「安全・安心に暮らせる山梨」を築くため、県民一人ひとりに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの向上を目指し、関係機関・団体をはじめ道路交通の場に参加するすべての人々と協力し、地域・家庭・学校・職場において、次の対策を強力に推進することを誓います。

- 1. 高齢者と子どもの交通事故防止
- 1. 飲酒運転の根絶
- 1. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 1. 自転車の安全利用の推進
- 1. 早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進
- 1. 二輪車の交通事故防止
- 1. 運転中の携帯電話等使用等禁止の徹底

以上、宣言します。

平成22年2月4日

平成22年交通安全推進県民大会

収めた白倉歩武さん(高根中学校)と三木芽衣子さん(若草中学校)による交通安全宣言について自らの体験による、心に強く訴える弁論が披露され、会場の皆さんからは「感動した」「素晴らしい」との言葉をいただきました。

察本部・山梨県交通安全推進協議会・山梨県交通安全協会(主催)が南アルプス市桃源文化会館で開催されました。大会には横内正明山梨県知事、西郷正実山梨県警本部長、

長をはじめ県下の交通安全協会などの交通関係団体と、南アルプス老人クラブの皆さんら約七百人が参加しました。主催者の挨拶、来賓の祝辞

に続き「山梨県飲酒運転根絶」に続き「交通安全宣言」は参加者安全弁論大会で優秀な成績を

採択しました。続いて、昨年の中学生交通安全弁論大会で優秀な成績を収めた白倉歩武さん(高根中学校)と三木芽衣子さん(若草中学校)による交通安全宣言について自らの体験による、心に強く訴える弁論が披露され、会場の皆さんからは「感動した」「素晴らしい」との言葉をいただきました。

山梨県交通安全協会の平成22年度事業計画

高齢者、子どもの交通事故防止 飲酒運転の根絶へ全力傾注

報 大規模なイベントや祭典等多くの県民が参加する場における広報・啓発活動を積極的に推進していきます。

(3) 交通安全キャンペーン、イベントの実施

飲酒運転の根絶における「ハンドルキーパー運動」の展開「シートベルト着用ストップアップ運動」の実施、反射材の普及・啓発、運転中の携帯電話使用禁止の周知の徹底を図る等、県下全域における街頭キャンペーンの実施(「県民の日」等各種イベントにおいて反射材及び交通安全資料の配付などを行います)。

(4) 交通安全教育・訓練の推進

高齢者交通安全大会、講習会を開催し「交通安全リーダー」の育成と参加、体験、実践型の交通安全教育の推進、子どもに対する教育・訓練は発達段階に応じ家庭やPTA等の団体等と連携して、体験型の教育・訓練の実施、自転車利用の小・中・高生に対し、自転車教室年間三百回、三万人を目標に開催し全学年一年生に反射材を小学四年生に「自転車乗りの安全ブック」を配布し、二輪車では県下高校生及び二輪車を活用する職場、地域の高齢者を対象に二輪車指導員等を派遣し、参加型の教育・訓練の実施、資機材の充実(反射材効果体験イベント)を図り貸出を行う、企業・団体等の要請に基づいて講師の派遣、高齢者・運転者等対象の運転適性検査の実施などを行います。

(5) 交通安全のための支援事業の推進

高齢者の認知機能低下による運転中の交通事故防止を図るための「安全運転支援装置」の普及、チャイルドシート及び三人乗り自転車の無償貸出事業の実施、拡大を行います。

(6) 各種委員会の活動の活性化と指導の強化

「地域交通安全活動推進委員会」、「山梨県二輪車安全運転推進委員会」、「山梨県自転車安全推進委員会」の事業、活動を効果的に推進していきます。

(7) 各種大会の開催

広(県民が参加し、交通安全に対する意識を高揚するため)交通安全子ども自転車大会、「高齢者交通安全大会」「二輪車安全運転大会」(中学生交通安全弁論大会)「交通安全推進県民大会」を開催します。

(8) 交通安全功労者等の表彰

各種表彰及び感謝状の贈呈を行います。

(9) 交通安全関連団体への支援

各地区交通安全協会と他機関・団体が行う交通安全活動への協力・支援を実施します。

DS Drive Safety

山梨中央広告グループ

YAMAHASHI ADVERTISING TRANSPORT CO.

株式会社 山梨広告運送

中央市西新居330-7

TEL.055-274-3822 FAX.055-274-3842

http://www.yamanashi-oriokomi.com

山梨自動車学校

県内唯一！ 全車種教習ができます。

山梨自動車学校は山梨県公安委員会指定の教習所です。
免許取得後の生徒の皆様のためにも安全・わかりやすさ・楽しさを
追求し、常に新しい取り組みにチャレンジしていきます。

山梨県公安委員会指定

山梨自動車学校

☎0120-915752

山梨県南アルプス市下高砂847

TEL055-285-0752
FAX055-285-0701
URL <http://www.y-ds.jp/>
i-mode <http://www.y-ds.jp/i/>

年中無休 (年末年始は除く)



日本交通管理技術協会山梨県支所

安全・安心な自転車にTSマークを

自転車は気軽に身近な交通手段として、子どもから高齢者まで通勤・通学・買い物などに幅広く利用されていますが、自転車による交通事故も多発しています。

平成21年中、山梨県内で発生した自転車による交通事故は792件で、2人の方が亡くなられ、795人の方がケガをしています。

自転車も自動車と同じ車両で、加害者となった場合は高額な賠償金が必要です。

TSマークは、賠償責任保険と傷害保険の2つがセット(表1)になっているので、もしもの時に安全です。

TSマークはTSマークのある自転車安全整備店で、点検・整備を受けマークを貼り付けてもらうと、1年間の付帯保険がついています。

表1 付帯保険の補償内容

傷害補償	賠償責任補償
TSマークが貼付されている自転車に搭乗中の人(同乗者も含まれます)が国内で事故によって、事故の日から180日以内に死亡又は重度後遺障害(1~4級)を被った場合に支払われます。 ○赤色TSマーク 一律100万円 ○青色TSマーク 一律30万円	TSマークが貼付されている自転車に搭乗中の人(第三者)に死亡又は重度後遺障害(1~7級)を負わせたことにより、法律上の損害賠償責任を負担した場合に支払われます。 ※対物損害は対象外です。 ○赤色TSマーク 最高限度額 2,000万円 ○青色TSマーク 最高限度額 1,000万円
上記の事故によって、入院加療15日以上(1ヶ月)の傷害を被った場合に支払われます。 ○赤色TSマーク 一律10万円 ○青色TSマーク 一律1万円	

第一種TSマーク(赤マーク)



第一種TSマーク(青マーク)



AMS (山梨県自動車整備振興会)



◇中小企業組合まつりへ参加!

自動車の安全確保及び環境保全に対する声が高まる中、自動車の不具合による事故や公害を防止するため、ユーザーには車の点検整備が義務付けられています。

しかし、その実施状況は必ずしも十分といえない状況が続いており、タイヤの脱落や車両の火災事故が起きています。

そこで、自動車ユーザーに日頃の点検整備の大切さを呼び掛けるため、3月7日(日)アイメッセ山梨で開催された上記イベントに参加しました。

今回は、来場された方々の駐車場に出向き、お客様の車を題材に「出張点検教室」を予定していましたが、当日、あいにくの雨で中止となりましたので、お客様たちはテント内に展示された多様な新旧部品等を興味深く見入っていました。

また、子どもを対象とした「てんけんくんぬりえコーナー」も多くの子連れで賑わいました。

今後も様々な機会を捉えて、点検整備の必要性を呼び掛けていきます。

◇春の全国交通安全運動!

アッと思った瞬間、とっさに「ブレーキを踏む」「ハンドルを切る」これは危険を避けるためのドライバーの行為です。

しかし、その行為に対し、「止まる」「曲がる」これは車の能力です。日ごろからの交通安全に対する意識の高揚と、快適で環境に優しく、そして安全な愛車を維持することは、ドライバーの責任です。

私たちが日ごろ健康に気をつけているように大切な命をゆだねる愛車にも点検、整備が必要です。

そこで、整備業界では、「春の交通安全運動」の期間中を含む、4月1日から約1ヶ月間「確かめよう 点検整備と車間距離」を標語に黄色い横断幕を県内主要幹線道路の横断歩道橋約50ヶ所に掲示し、ドライバーの皆さんへの呼び掛けを展開しています。

